

2017 年度学校図書館問題研究会兵庫支部 学校司書配置状況アンケート調査

1. アンケート結果について

学図研兵庫支部では兵庫県下 41 市町村教育委員会に支部会員が電話、FAX、メール、郵送にて学校司書の配置状況について調査を行った（回答率 100%）。

結果の分析と課題

- 兵庫県でも、2015 年 4 月の「学校図書館法」施行後、学校司書の配置や増員が徐々に進んでいる。
- 兵庫県で小中学校に学校司書を配置している自治体が 16 あるが、配置されていない自治体は 21 であり、配置されていない自治体の数の方が多い。
- 直接雇用の自治体が 15 あるが、一校専任、全校配置は 3 自治体のみ。
- 雇用状況は、1 自治体のみ正規雇用となっているが、教諭との兼務であり、学校司書としての正規雇用ではない。他は非正規雇用。
- 複数校兼務もあるので、一校当たりで考えると、週 5 日のところは 3 自治体のみであり、それ以外は、週 2～3 日が多い。時間も 1 日 5 時間を超えるところは少なく、1 日 2～4 時間のところもある。
- 契約の更新も、学期ごと 1 年ごとなど継続性がなく非常に不安定な状態である。
- 研修や司書連絡会が全くない、あるいは年に 2～3 回しかないところがほとんどである。
- 司書配置のないところでは、司書教諭、担当教員、ボランティアが担当している。

2. アンケート方法について

- アンケート依頼のメールを見ていない人がいた。
 - « 全員見てください » と注釈をつけて流すべきだった。
 - メールを読んだ人に返信をしてもらうとよかった。
 - 担当表を最初のページに書くべきだった。
- 今後は過去の集計資料や参考となる他県のデータを添付して依頼したい。どう集計されるかがわかれば、答えてもらいやすいと思う。そのためにも、集計データの統一したまとめ方を決めていただけるとありがたい。